



【公開セミナー@立教大学】

プルーストの 名文を読む



2024年 **11月9日(土)** 14:00-16:00

立教大学 池袋キャンパス 10号館 X204教室

講師 **吉川一義** 氏 (京都大学名誉教授)

司会 **坂本浩也** (立教大学教授)

主催 立教大学文学部文学科フランス文学専修

問合せ先 学部事務1課 (03-3985-3392)

proust.rikkyo@gmail.com

https://x.com/proust_rikkyo

申込不要・入場無料、定員140名 (先着順)

テキスト プルースト著・吉川一義編訳『『失われた
時を求めて』名文選』岩波書店、2024年





講師紹介

吉川 一義 (よしかわ・かずよし) 氏

1948年生まれ。京都大学名誉教授。
プルースト研究の国際的権威。

著書に、『プルースト美術館 『失われた時を求めて』の画家たち』（筑摩書房、1998年）、『プルーストの世界を読む』（岩波書店、2004年、新装版2014年）、『プルーストと絵画 レンブラント受容からエルステール創造へ』（岩波書店、2008年）、『『失われた時を求めて』への招待』（岩波新書、2021年）、『絵画で読む『失われた時を求めて』 カラー版』（中公新書、2022年）など。

訳書に『失われた時を求めて』（岩波文庫、2010-2019年、全14巻、日仏翻訳文学賞特別賞）など。

元日本フランス語フランス文学会会長（2009-2013年）。フランス政府・教育功労章（2010年）、フランス学士院・フランス語フランス文学顕揚賞（2010年）、日本学士院賞・恩賜賞（2012年）。

立教大学では2017年から2020年にかけて、長かつ複雑な小説として名高いプルーストの『失われた時を求めて』を吉川一義氏による新訳で読む全14回の連続公開セミナー「新訳でプルーストを読破する」を開催し、たいへん好評を得ました。

このたび、作中から箴言と散文詩のような断章を選び抜き「名文選」を編んだ吉川氏を講師にお迎えし、あらためてプルーストの大長編の読みどころについて考察します。

以下の専用メールアドレス、およびX（旧Twitter）のメッセージで、参加者の**事前質問**を受け付けています。開催1週間前をめどにお送りください。

proust.rikkyo@gmail.com
https://x.com/proust_rikkyo

事前質問を活用しながら講師に「名文選」を編んだ際のポイントを話していただいたあと、参加者同士の意見交換、講師との質疑応答の時間を設けます。ぜひテキストをお持ちください。

* 今回の公開セミナーは、科学研究費基盤研究（C）24K03785「マルセル・プルーストを中心とする文化情報のネットワーク構築」の助成を受けています。



岩波書店のウェブマガジン「たねをまくの」の「イベントレポート」欄にて、左記の公開セミナーの内容が、それぞれの『失われた時を求めて』という題で公開されています（2024年8月現在第7回分まで）。
📍 <https://tanemaki.iwanami.co.jp/categories/672>

全14回のゲストとスケジュール
(肩書きは開催当時のもの)

- ① 吉川一義氏 (京都大学名誉教授) 2017/10/21
- ② 工藤庸子氏 (東京大学名誉教授) 2017/12/9
- ③ 石橋正孝氏 (立教大学助教) 2018/2/17
- ④ 湯沢英彦氏 (明治学院大学教授) 2018/4/28
- ⑤ 根本美作子氏 (明治大学教授) 2018/6/23
- ⑥ 阿部公彦氏 (東京大学教授) 2018/8/25
- ⑦ 高樓方子氏 (作家) 2018/10/6
- ⑧ 野崎歆氏 (東京大学教授) 2018/12/1
- ⑨ 青山七恵氏 (作家) 2019/1/19
- ⑩ 小黒昌文氏 (駒澤大学准教授) 2019/3/2
- ⑪ 青柳いづみこ氏 (ピアニスト、文筆家) 2019/5/19
- ⑫ 中野知律氏 (一橋大学教授) 2019/7/13
- ⑬ 柴崎友香氏 (作家) 2019/9/14
- ⑭ 吉川一義氏 (京都大学名誉教授) 2020/1/11

(司会：坂本浩也)

上記セミナーは、JSPS 科研費 JP 18K00490 の助成を受けました。

